

# 農地利用状況調査報告

## 地域のために都市農地を守る

豊中市農委

豊中市農業委員会は、山田徹会長は、6月から7月にかけて農地パトロールを実施。6月25日には山田会長、事務局職員2人で、上新田・新千里南町地区を巡回した。

豊中市は、市内全域が市街化区域。同地区も昭和中期にニュータウンとして開発された住宅街が広がっており、点在する農地をくまなく巡回するため、徒歩により調査した。地区担当である山田会長が主



一筆一筆丁寧に確認する（豊中市）

導して進め、「次に巡回するこの農地は〇〇さんの農地で、遠方に住んでいる」、「〇〇さんは高齢で耕作が難しい」など会長が把握している事情を踏まえながら、遊休化の状況を確認。途中には、会長自らが遊休農地所有者を指導し、改善させた農地も確認された。

かつて竹林が広がっていた所を造成したこの地区は、起伏が激しく、住宅街に入り組む細い道が農地への進入路となつてい

## 区画整理事業以後も保全継続

交野市農委

交野市農業委員会（友田正直会長）は、6月から7月にかけて農地パトロールを実施。7月2日には友田会長を含む地区担当農業委員3人、推進委員1人、事務局職員2人で、星田、星田西及び星田北地区を巡回した。

適用を受けている農地及び周辺を中心に巡回。巡回する農地は、事務局が予めとりまとめ、順番に廻っていくが、委員が日々の巡回の中で耕作状況を確認している農地もあり、その状況を聞き取る一幕も見られた。

市内西部に位置する星田北地区は、平成30年に区画整理事業が着工され、約48・3畝に商業施設を中心に住宅や工場・物流施設などを建設する都市開発が進められている。

この日は、相続税納税猶予の

## 最適化活動の推進等を説明 農業委員会担当者会議

農業会議は、7月12日に大阪市内・大江ビルで市町村農業委員会業務担当者会議を開いた。会議では、鈴木専務理事兼事務局長が、昨年度より規制改革推進会議が行っていた改正農業委員会法5年後見直しが6月の実施計画策定をもって一段落したことに言及。これを踏まえて農水省が発出予定のガイドラインに基づき、農業委員会

は、農地利用の最適化の活動の意欲的な目標設定と活動の定量的把握等に取り組むこととなる旨を説明した。



実施すれば、目に留まりやすく、回収率が上がるのではないかなど、調査の有効な進め方について議論が重ねられた。



民家に囲まれた一団の農地を巡回（交野市）

（沼田）

（沼田）